

6 単元指導計画(全16時間)

(評価規準)

	算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての 表現・処理態度	数量や図形についての 知識・理解
かけ算	<ul style="list-style-type: none"> 乗法に関心をもちものの個数をとらえるときに進んで乗法を用いようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗法の答えを既習の加法を用いて求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗法の場面を式に表すことができる。 被乗数を乗数の数だけ累加して乗法の答えをだすことができる。 2倍や3倍の数量を乗法を用いて表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗法の式は、同数のものがいくつあるときに用いることがわかる。 乗法の答えは、被乗数を乗数の数だけ累加する方法で求められることがわかる。 2倍や3倍の用語の意味がわかる。
2のだんの九九 5のだんの九九 3のだんの九九 4のだんの九九	<ul style="list-style-type: none"> 乗法九九を構成したり、乗法九九を活用したすることに関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗法九九の構成のしかたを工夫する。 乗法九九を用いて問題を解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> 2の段～4の段の九九を構成したり、唱えたりすることができる。 2の段～4の段の九九を適用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2の段～4の段の九九の構成のしかたや唱え方がわかる。 九九やかけられる数、かける数の用語の意味がわかる。 乗数が1ふえると、積は被乗数だけふえることがわかる。 2の段～4の段の九九の適用のしかたがわかる。

次	時	本時のねらい	主な学習内容	評価規準
1	1	同じ数ずつのまとまりを作ると数えやすいことがわかる。	<p>乗りに乗っている人の数をしらべましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊園地でウォータースライダー等いろいろな乗り物に乗っている人の数を調べる。 	(関)教科書の絵のそれぞれの乗り物に乗っている人数を意欲的に調べることができる。
	1	「1つ分の大きさのいくつ分」という意味を理解できる。	<p>ほかの乗り物に乗っている人の数を詳しく説明できるようにしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ボート・車などに乗っている人の数を見ていない人にもわかるように話す。 同じ数ずつのものをさがし、「何人ずつ・いくつ分で・何人」という言い方を練習する。 おはじきを並べて、いろいろな場合について書いたり、話したりする。 	(考)「1つ分の大きさ」の「いくつ分」としてとらえることができる。
	1	かけ算の意味や式表示のしかたを理解することができる。	<p>調べた人数の言い方をかけ算の式にしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の言い表し方で、みかんの数を表す。 かけ算の式と読み方を知る。 「何個ずつ・いくつ分」をかけ算の式にして書いた 	(知) $5 \times 3 = 15$ の意味及び書き方を理解できる。 (表)おはじきを 2×5 、 5×4 、 3×2 のようなかけ算になるように並べ

		<p>り読んだりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけ算の式を1つ分といくつ分が明確になるようにおはじきを並べる操作をする。 	<p>ることができる。</p>
1	<p>かけ算の答えの求め方を考えることができる。</p>	<p>3 × 4 の計算のしかたを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドーナツの数を求める式を作り、答えの求め方を考える。 ・おはじきを並べる操作を通して、かけ算の式の答えをたし算の計算(同数累加)で求められることを知る。 	<p>(数)かけ算の答えは1つ分の数をいくつ分の数だけ足して(同数累加)求められることを、自分なりにまとめ理解することができる。</p>
2	<p>1 具体的な場面を見て、同じ数ずつあるものを探して、かけ算の式に表すことができる。</p>	<p>かけ算の式にできるものとできないもの考える式をつくらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1、2時の学習を想起し、かけ算が使えるものと使えないもの考える。 ・同じ数ずつのものを選び、式をつくる。 	<p>(数)同じ数ずつあるものは乗法の式に表せることを考えることができる。</p>
3	<p>1 「2つずついくつ分」の答えを求める算数的活動を通して、図や式から2の段の九九を構成することができる。</p>	<p>2こずつのいくつ分でケーキの数を求めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お皿に2個ずつのったケーキ6皿分の式を考える。 ・1皿分から6皿ぶんまでのケーキの数を式と図を対応させながら求める。 ・7、8、9皿分のケーキの数を求める。 ・2の段の九九を構成し、唱える。 	<p>(表)2の段の九九を構成し「九九」の用語と、その意味がわかる。</p>
	<p>1 2の段の九九の唱えかたを知り、正しく唱えることができたり、適用したりすることができる。</p>	<p>2の段の九九を早く正確に唱えられるようにしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2の段の九九を何度も練習し、早く正確に言えるように練習する。 ・2の段の九九の適用問題を解く。 	<p>(表)2の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり適用したりすることができる。</p>
4	<p>1 「5こずついくつ分」かを求める算数的活動を通して、5のいくつ分かの考え方をもとに5こずつたして大きさを求め、5の段の九九を構成することができる。</p> <p>本時8/16</p>	<p>5こずつのいくつ分でクッキーの数を求めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1袋に5こずつ入ったクッキー7袋分の個数を求める式を考える。 ・式と図を対応させて、答えを求める(同数累加)。 ・求め方を交流する。 ・8、9袋分のクッキーの数を求める。 ・5の段の九九を構成し唱える。 	<p>(表)5の段の九九を構成することができる。</p>

	1	5 の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えることができたり、適用したりすることができる。	<p>5 の段の九九を早く正確に唱えられるようにしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「5 の段の九九」という用語と唱え方を想起し、練習する。 ・5 の段の九九の適用問題を解く。 	(表)5 の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり適用したりすることができる。
5	1	乗法九九のゲームをもとにして、乗法九九を正しく活用できるようにする。	<p>「かけ算ビンゴ」をして、正しくかけ算の練習をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけ算ビンゴの方法やルールを知る。 ・かけ算ビンゴのゲームをする。 ・初めは全体でやり、その後グループでゲームをする。 	(表)2 の段、5 の段が円滑に唱えられる。
6	1	3 のいくつかの大きさを求めて3 の段の九九を構成することができる。	<p>ボートを1 そうずつふやして、乗れる人の数を順に考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 人乗るボートのそう数から、全体の人数を順に求める方法を考える。 ・4 そうまでの求め方を考え、1 そうふえると乗れる人は何人多くなるか調べる。 ・5 そうから9 そうまで、乗れる人の数を求める。 ・「かけられる数」「かける数」の用語と、それらの意味を理解する。 	(数)乗数が1 ふえるとそれに伴って積も3 ずつふえるという性質を使って、3 の段の九九を構成することができる。
	1	3 の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えることができたり、適用したりすることができる。	<p>3 の段の九九を早く正確に唱えられるようにしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3 の段の九九」という用語と唱え方を想起し、練習する。 ・3 の段の九九の適用問題を解く。 	(表)3 の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり適用したりすることができる。
7	1	4 のいくつかの大きさを求めて3 の段の九九を構成することができる。	<p>5 箱までのあめの求め方を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あめの数を求める式を立て、全体の個数の求め方を考える。 ・5 箱までのあめのかずの求め方を考える。 ・4 の段ではかける数が1 ふえると、答えは4 ふえることを確認する。 ・6 箱から9 箱までのあめの数を求める。 	(数)乗数が1 ふえるとそれに伴って積も4 ずつふえるという性質を使って、4 の段の九九を構成することができる。
		3 の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えることができたり、適用したりすることができる。	<p>4 の段の九九を早く正確に唱えられるようにしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「4 の段の九九」という用語と唱え方を想起し、練習する。 ・4 の段の九九の適用問題を解く。 	(表)4 の段の九九の唱え方を知り、正しく唱えたり適用したりすることができる。

8	1	もとにする量のいくつ分を「ばい」で表すことを知り、その大きさをかけ算の式にすることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">「ばい」という新しい言葉を使って式をつくれるようにしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つ分を2倍、3つ分を3倍ということを知る。 ・ 式で表し、答えを求める。 ・ テープ図をもとに、2倍は2本分、1倍は1本分であることを知る。 	(知)いくつ分ということ。「ばい」という言葉で表すことができる。
9	1	2～5の段の九九を使って問題を解くことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">かけ算を使って、問題を正しく解こう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ れんしゅうとまとめようの問題を解き、答え合わせをする。 ・ 間違いを訂正する。 	(表)2～5の段までの乗法の立式や、九九の計算ができる。
10	1	2～5の段の九九を1つの表に表し、答えの並び方にどんな決まりがあるのか見つけることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">九九の表のひみつを見つけよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 九九の表を書く。 ・ 表から九九の答えの並び方の決まりを見つめる。 	(表)2～5の段の九九を1つの表に表し、答えの並び方の決まりがわかる。